

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英会話	NLA11_022	選択	1	1・2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
風間 絢日	415	ayaka.kazama			
授業の目的・概要	国内外で英語を必要とする場面が増えてきている。英会話を通じて自分の考えや意思を相手に明確に伝える方法と相手から情報を得る方法を身に付け、英会話における聴き取り能力と応答能力の向上を図る。英語でコミュニケーションをとるための基本文法の理解を促しつつ、シミュレーションに応じた会話練習を行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	コミュニケーション力の向上のためには実際に会話をするのが重要となる。授業に積極的に参加することはもちろん、クラス外でも意識的に英語を使うことで英会話力をつけることができる。				
教科書	English Locomotion/編著JACET教材開発研究会/成美堂/2015				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	積極的に英語でコミュニケーションをとる態度を身に付けている。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
②	日常的な英語を聞いて理解することができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
③	英語で自分の意思や考えを伝えることができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
④	シミュレーションに応じ適切な文法を使い分けることができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
⑤	習得した語彙や表現を活用して英語でコミュニケーションをとることができる。		HSU(2)(5),NS(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンスと Unit 1:授業内容と学習方法について、また英語の文の構造について学習する。	講義	教科書 Unit 1 を予習し知らない単語等を調べておく。	1	
2	Unit 2:レシビを教える。	講義	教科書 Unit 1 の復習をし Unit 2 の予習をする。	1	
3	Unit 3:日常生活について話す。	講義	教科書 Unit 2 の復習をし Unit 3 の予習をする。	1	
4	Unit 4:旅行の計画を立てる。	講義	教科書 Unit 3 の復習をし Unit 4 の予習をする。	1	
5	Unit 5:待ち合わせをする。	講義	教科書 Unit 4 の復習をし Unit 5 の予習をする。	1	
6	Unit 6:アドバイスをする。	講義	教科書 Unit 5 の復習をし Unit 6 の予習をする。	1	
7	Unit 7:趣味について話す。	講義	教科書 Unit 6 の復習をし Unit 7 の予習をする。	1	
8	Unit 8:相手を誘う。	講義	教科書 Unit 7 の復習をし Unit 8 の予習をする。	1	
9	Unit 9:歴史について話す。	講義	教科書 Unit 8 の復習をし Unit 9 の予習をする。	1	
10	Unit 10:経験について語る。	講義	教科書 Unit 9 の復習をし Unit 10 の予習をする。	1	
11	Unit 11:買い物をする。	講義	教科書 Unit 10 の復習をし Unit 11 の予習をする。	1	
12	Unit 12:自分について話す。	講義	教科書 Unit 11 の復習をし Unit 12 の予習をする。	1	
13	Unit 13:天気について話す。	講義	教科書 Unit 12 の復習をし Unit 13 の予習をする。	1	
14	Unit 14:願望について語る。	講義	教科書 Unit 13 の復習をし Unit 14 の予習をする。	1	
15	第 14 回までの総復習と講評。	講義	これまで学習した語彙や表現を復習する。	1	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	10	0	0	0	50	100	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	20	0	0	0	10	30	
	コミュニケーション力	20	0	0	0	10	30	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
試験	①	✓	学期末に英語でのコミュニケーション力をはかる試験を行い授業で学習した英文法の知識や語彙、表現が使いこなせているか総合的に評価を行う。					試験の評価
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	単に出席するだけでなく、積極的に授業に臨む姿勢が求められる。授業中の態度や参加度も評価の対象となる。					授業内の教員によるコメントおよび助言
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
備 考								
他担当教員	なし							
教員の実務経験	カナダの大学にて学位取得、タイの大学の英語プログラムにて修士過程を修了した後、外国人患者を多く受け入れるタイの私立総合病院にて8年間勤務し、医療コーディネーション業務などを行う。日本帰国後は大学にて語学試験対策や英語学習の指導などに従事するとともに医療通訳者の育成・普及活動に携わる。							
実践的授業の内容	英語教授と海外での経験を活かし、まずは英語で会話してみようという積極的な態度を身に付けて、日常生活や身近な話題について英語でコミュニケーションがとれることを目指した講義を実施する。							
その他	英語によるコミュニケーションへの積極性や授業への参加度も評価の対象となるため、授業を欠席した日の評価は0点になる。教室内でのスマートフォンやアプリの使用は禁止する。実際のコミュニケーションを重視する授業形態をとるため、感染症の拡大を防ぐ目的でマスク着用を求めるといった感染症対策措置が求められる場合がある。							